

総務常任委員会

平成28年7月28日～29日
佐賀県唐津市・福岡県うきは市

唐

津市では、原子力防災対策を視察しました。

福島第一原発事故を教訓として原子力災害時の防護措置を短期間で効率よく行うため、原子力発電所からの距離により区域を設定し、原発に近い区域を早期に対応することになっております。

放射性物質の影響は、風向き等で飛散範囲が異なるが、避難計画を風向きで変え、かえって混乱するので、避難は風向きなどによつては変えないことにし、状況を見て、屋内退避しつつ、地区ごと



唐津市

に避難誘導することでのことでした。

う

きは市では、ふるさと納税を視察しました。

うきは市は返礼率を2割から5割へ上げ、記念品のリニューアルやクレジットカード決済をスタートさせています。

取り組んだ成果としては、地場産業の活性化に伴い雇用の増加、リピーターの寄付や直接購入につながり、知名度がアップし、生産者との連携強化が図られたそうです。

課題として、記念品特にフルーツの確保や寄付金の使い道、PR活動があげられる。

とにかく、お礼の品はあくまで市内にこだわる。良いものを贈り、喜ばれ、全国にファンが増えるというサイクルが大事ということでした。

厚生文教常任委員会

平成28年7月7日～8日
福岡県北九州市・広島県呉市

北

九州市では歯と口の健康づくりを視察しました。

北九州市では、口腔保健支援センターを設置し、歯科保健関係者だけでなく、多くの職種の方で構成される口腔保健推進会議の開催を初め、未受診者へのアプローチや健診のお知らせハガキを工夫するなどの歯科検診率向上対策、全身疾患、糖尿病との関係に着目した歯周病予防・重症化予防対策、そして、市民のほか医療・介護関係職種の方への情報提供や正しい知識の普及啓発など、口腔保健施策の充実を図っています。



北九州市

策の充実を図っています。

呉

市では、国民健康保険事業を視察しました。

呉市では、生活習慣病予防を柱とした保険事業を推進しています。国民健康保険事業の中で医療費適正化を進めるために、医師会・薬剤師会と協議を重ねながら、総合的な健康管理増進システムとして、レセプトデータベース化システムを導入しました。このシステムを活用し、糖尿病性腎症等重症化予防事業やジェネリック医薬品の利用促進等、行っています。

多くの職種の方々の協力によるチーム医療で、地域に根ざした健康づくりや生活の質の向上と健康寿命日本一のまちを目標に取り組んでいます。

多くの職種の方々の協力によるチーム医療で、地域に根ざした健康づくりや生活の質の向上と健康寿命日本一のまちを目標に取り組んでいます。

産業建設常任委員会

平成28年8月1日～2日
福岡県 糸島市・八女市

糸

島市では、竹林整備事業、鳥獣被害対策の取り組みを視察しました。

糸島市では竹林オーナー制度や竹林整備促進事業を実施しており、竹林整備促進事業は竹を買い取る事業者に3千円の商品券を交付し、事業者が竹搬入者から竹を買い取る際に商品券を交付した場合、商品券を市が補助するものです。

鳥獣被害対策ではサル対策として、サルに発信機をつけて放して、サルの群れが今どこにいるか受信し、それを市に連絡いただき、市からメール登録されている方にメールを発信することで、追い払いなどを行っていたようにされています。

鳥獣被害対策ではサル対策として、サルに発信機をつけて放して、サルの群れが今どこにいるか受信し、それを市に連絡いただき、市からメール登録されている方にメールを発信することで、追い払いなどを行っていたようにされています。



八女市

八

女市では、八女市バイオマス活用推進計画を視察しました。

都市交流として、竹林オーナー制度を実施し、竹林管理やイノシシ対策、料理教室など通じ、地元住民と交流を深めるよう努力されています。

また、竹繊維ペレット製造の事業化で、コンテナやゴミ容器、グレーチングなど製造され研究、開発が進んでいます。

第4回議会報告会での意見

執行部の見解は…

5月に開催した第4回議会報告会の中でいただいた意見のうち、執行部の見解が必要なものは、執行部に見解を求めていました。

今回、その回答が提出されましたので、一部をご紹介します。

出された見解や取り組みの推移などは、議会として今後も注視していきます。

※出された見解はホームページにも掲載しています。

質 オリジナル住宅構想事業とか、定住促進住宅整備事業について、できれば外構工事のほうにも予算を付けてもらいたい、付加価値を高め、住みたいと思う住宅を供給すれば、定住促進にも一役買おうと思う。（総務常任委員会でも外構工事もした方がよいとの意見が出ました。）

答（まちづくり推進課）

オリジナル住宅構想事業では、「本市ならではの生活」ができるよう、2台分の駐車場、家庭菜園、ガーデニング用地のほか、将来の増築に備えた広い敷地を考えています。また、玄関を兼ねた土間、外部にテラスを設けた設計で、テラス部分は外構工事に該当しま

す。オリジナル住宅を建築する希望者には、設計書の進呈を考えています。

宅地は、現在のところ分譲を想定しており、上・下水道の敷地内までの配管、隣接地（道路や宅地）との段差約1m以上に対して擁壁の設置などを考えており、何よりも宅地単価について、相場よりも低い設定を考えています。

さらに、定住促進補助事業に該当する場合は、一定の補助金の対象にもなります。

外構工事とは、建物本体以外の家の外側の工事を行うことで、門柱・門扉、フェンス、カーポートなどのことをいいます。これらは、それぞれにさまざまな種類があり、工事内容により選択する資材や費用が変わってきます。そして、建物本

体との色合い、バランスなど、施主の意向（希望）、こだわり、センスが強く現れるものです。

したがって、外構工事に係る部分は、現状の施策の中でご理解いただきたいと考えています。

質 豊後大野市役所前（旧三重庁舎跡）の駐車場には防犯灯がない。広い駐車場だし、先日の地震時には、高齢者が慌てて来たり、駐車場が大変混雑した。事故防止の意味でも、防犯のためにも、市役所前の駐車場に防犯灯は必要だと思う。

答（総務課） 旧庁舎跡地の駐車場には照明がなく、事故防止や防犯上、照明設置の必要性が高いと思われる。

しかし、駐車場内への照明設置は、通常の防犯灯では照度が低く、狭い範囲しか照らすことができないことや、敷地内にポールを設置した場合、駐車台数の減少や敷地内での事故の発生も予想されることなどの課題があり、また駐車場を利用するイベント（らいでん祭りなど）を行う際、ポールが邪魔になることも考えられます。

まずは、本年度、旧庁舎跡地の駐車場と市役所との間の横断歩道付近に防犯灯を設置する予定ですが、駐車場敷地内への照明設置には、駐車場の利活用の在り方等も含め、今後検討したいと考えています。

